

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	福田 紘幸	学校名	神戸市立真野小学校
実施学年	6年	教科	社会科
単元名	武士による政治のはじまり		

《学びを深めたいポイント》

本単元は、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いに着目して、鎌倉時代以降、約680年もの間、武士によると統治が続いていくが、その世の中はどのように生まれ、どのように広がったのかについて考える。地図や年表、想像図などの資料を生かして、武士の生活は貴族の生活と大きな違いや変化があったことや、貴族に変わって武士が政治を行うようになったことを理解する。

しかし、「武士」という名前は聞くが、どのような存在でどんな風に生活していたか、というのは知らないことが多いと考えられる。気付きメモや発表ノートを活用することで、疑問に思ったことを聞いたり、動画を見たりすると、点で獲得している歴史の知識が線で結ばれ、確かな情報に繋がると考えられる。

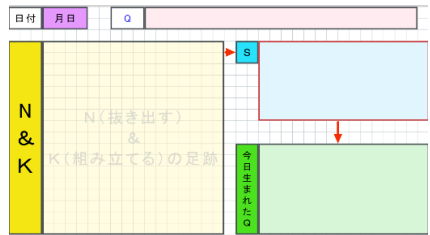
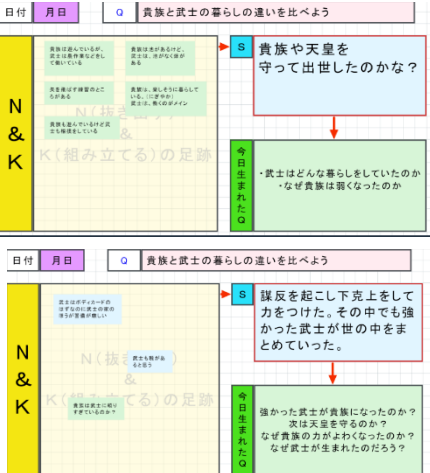
そのために、本時の学習では、武士について知らなかったことに気付き、知っていたこととのずれを確認し、新たに生まれた問いを解決していく授業形態をとることで、児童が主体的に学習に取り組めるむと考えた。

《SKYMENU 活用のポイント》

この時間の中では、主に気付きメモと発表ノートを活用する。気付きメモでは、資料から気付いた事を投稿する際に使うことで、友達の考えを常に可視化することができるようにした。学習が苦手な児童は友達の気付いた情報を得ることができ、得意な児童も刺激となって学習が促進するようにする。

また、気付きメモで投稿し合った情報を発表ノートに持ってきて、それを組み合わせることで、「何でこんな生活をしていた武士が、権力を持っていくんだろう。」と単元のめあてに迫れるようにする。発表ノートをノート代わりに使用することで、机上の学習用具を必要以上に広げすぎることなく、すっきりとした状態で学習に取り組むことができる。また、発表ノートで学習のまとめを行う際に、グループワークを繋げることで座りながら友達のノートを見ることができるようにする。それによって、苦手な児童も真似して学習に参加するといった、個別最適な学びができるようにする。次時以降も、この発表ノートに追加していく形をとることで整理もしやすく、振り返りがしやすいようにした。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1 時代の変化をつかむ。		・発表ノートを配布し、学習の流れの見通しを持たせる。
	武士は、どのように力をつけ、世の中をまとめていったのだろう。		
展開	2 資料から貴族と武士の暮らしの違いを比べ、気付いたことを出し合う。		・気付きメモを活用することで、歴史が苦手な児童も、友達のつぶやきからヒントを得たり、いいねをしたりする等、参加しやすい環境を設定する。 ・学習の単元の流れをつかませるために、めあてに繋がりそうな投稿を発表ノートに持ってくる。
まとめ	3. これからの学習で調べたい事をもとに、学習問題を考える。		・紙のノートを一切使わずに発表ノートに今日の学習の軌跡をまとめることで、学習の時間の無駄を省くことができ、後から学習の振り返りをしやすくする。

《実践を振り返って》

気付きメモを活用することで、歴史だけでなく、学習に苦手意識を持っている児童も何度も投稿し、発表ノートで素早くまとめるなど、全員が主体的に活動することができた。また、「小袖って何だろう？」と投稿している児童に、「小袖って袖口が小さい着物だよ。」と投稿し、疑問を投稿した子もいいねで返すなど、自然とGIGAを通して関わりを持つことができていた。気付きメモと発表ノートを組み合わせることで、児童それぞれが自分の問いをもち、次時からの見通しをもつ時間にすることができた。

しかし、時代の変化をつかむために PowerPoint を使って導入をしたのだが、その時間を取りすぎてしまい、まとめの時間を十分に確保することができなかった。次時にその復習から入り、問いをしっかりと作って、主体的に学習できる状況を整えてから始める必要が生まれた。気付きメモ活用の時間をたくさん取るための時間配分を考えていきたい。